

県酪だより

K E N R A K U D A Y O R I

2024

3

vol.315

福島県牛乳普及協会主催

「牛乳パワーがつくる健康でたくましいカラダ」 ラグビー元日本代表 大野 均さん 講演会を開催



TOPICS

- 福島県酪女性部やまびこ会主催
令和5年度ひまわりコンクール優秀作品決定…………… ②～③
- 日本酪農政治連盟福島県支部連合会
第61回定期総会を開催 …………… ④

優秀作品決定!!



最優秀賞

ひまわりコンクールの部 最優秀賞
味戸巴子さん(県中)



ひまわり賞

ひまわりコンクールの部 ひまわり賞
佐藤恵美さん(県中)



福島県酪女性部やまびこ会 主催 令和5年度ひまわりコンクール



酪農生活の部 最優秀賞
題名「青いトラクター大好き」
福田 祐子さん (県中)



ひまわりコンクール審査会

福島県酪女性部やまびこ会（会長 佐藤 真理子）では畜舎環境美化運動を行っており、毎年その成果を披露する機会として、写真によるひまわりコンクールを行っております。

今年も去る1月26日（金）福島県酪農業協同組合に於いて、令和5年度のひまわりコンクールの審査会を開催いたしました。

今年度より畜舎周辺の美化を目指し、牛舎まわりが写っていることを条件とした「ひまわりコンクールの部」と乳牛のいる風景や酪農作業風景が鮮明に伝わる「酪農生活の部」の2部門で開催致しました。応募作品数は、昨年よりもやや少なかったものの、例年のない猛暑の中、お手入りを欠かさずきれいに花を咲かせた力作ぞろいで、応募された方の努力の成果が伺えました。審査の結果、「ひまわりコンクールの部」最優秀賞に味戸巴子さん、ひまわり賞に佐藤恵美さん、「酪農生活の部」最優秀賞に福田祐子さんの作品が選ばれました。

ご応募頂きありがとうございました。

今年も、皆さんの作品を本所2階玄関口スペースや各事務所に月替わりで展示いたしますので、ご来訪の際にはぜひご覧下さい。



日本酪農政治連盟福島県支部連合会 第61回定期総会を開催



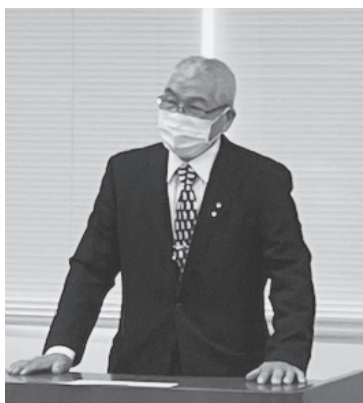
去る令和6年2月7日、県酪農協本館会議室において、日本酪農政治連盟福島県支部連合会第61回定期総会が開催されました。今年度は新型コロナの感染法上の5類移行を受け、多くの来賓の皆様にご臨席を賜り、コロナ前と同様の内容での開催となりました。

まず、木目澤会長より挨拶があり、「令和4年から始まったウクライナ戦争や円安により、世界経済は大きな影響を受け、飼料価格や生産資材の高騰により、我々酪農家もいまだかつて経験したことの無い厳しい状況が続いている。そのような中で、酪政連としては多くの酪友と手を携えながら積極的に活動した。満足が行く状況には至っていないが、国や県、市町村からご支援をいただき、少しずつではあるが状況は良くなってきていると感じている。新年度も東北ブロックや本部と連携し、少しでも経営が良くなるよう努力していきたい」との挨拶がありました。

来賓の皆様からはまず初めに、日本酪農政治連盟委員長 佐藤哲様（代理：幹事長 坂本保様）より、「昨今の国際情勢により飼料価格が高止まりするなど酪農を取り巻く状況は厳しいが、日本酪農政治連盟としても引き続き各支部と連携し、酪農業の発展のため活動していきたい」とのご祝辞をいただきました。続いて、福島県酪農業協同組合 紺野宏組合長よりご祝辞をいただきました。

総会におきましては、①令和5年度運動報告、財産目録、収支決算について、②令和6年度運動計画案、収支予算案について、③令和6年度会費の賦課、徴収方法について、④役員への補欠選任についての4議案が上程され、慎重審議の結果、満場一致で全議案が可決されました。

新年度についても、酪政連として関係機関へ引き続き積極的な働きかけを行い、厳しい酪農業界が良い方向に向かうよう、心から祈念したいと思います。



木目澤会長



日本酪政連 坂本幹事長様



県酪協 紺野組合長様

福島県牛乳普及協会主催

「牛乳パワーがつくる健康でたくましいカラダ」 ラグビー元日本代表 大野 均 さん講演会を開催

令和6年2月9日郡山市のビッグパレットにて、ラグビー元日本代表 大野均さんをお招きし、福島県牛乳普及協会主催（会長 紺野宏）講演会を開催しました。講演会には約80名が参加し、大野さんの強靱な肉体の秘密や現役時代のお話など、笑いを交えた講演会となりました。

また、より牛乳を知ってもらおうと参加者に『牛乳飲み比べチャレンジ』を行い、「牛乳」、「成分調整牛乳」、「LL牛乳」の3種類を飲み比べていただきました。大野さんは匂いだけで分かったとおっしゃっていました。会場内では30名が正解し、大野さんから直接プレゼントを受け取りました。

参加者からは「牛乳をもっとたくさん飲んで大野さんみたいに強い体をつくります!」「大野さんの強さの秘密は牛乳を毎日10L飲んでいたので知り、自分は9L足りないのもっと飲もうと思った」「これからも酪農家を応援していきたい」などの感想がありました。

福島県牛乳普及協会では、引き続き福島県の牛乳・乳製品のPRを行ってまいります。



参加者からの質疑応答



『牛乳飲み比べチャレンジ』
会場には、大野さんのご両親もご来場されておりました。



大野 均さんから『牛乳飲み比べチャレンジ』の
正解者へプレゼントをお渡しいただきました。

◆大野 均 さん（福島県郡山市出身）



- ・ラグビーワールドカップ
3大会連続出場（2007・2011・
2015年）
- ・日本代表歴代最多98キャップ
2004年に日本代表初キャップ獲
得し、2016年に98キャップ
- ・2020年5月 現役引退
引退後もラグビーの魅力発信、子
供たちへラグビー指導、県内外で
の講演活動等も行うなどラグビー
に関わる活動をされております。

福島県酪農青年研究連盟より



「第55回福島県ホルスタインショー」

4月20日(土)福島県家畜市場(本宮市)にて、開催致します!

福島県酪農青年研究連盟主催「第55回福島県ホルスタインショー」を4月20日(土)に、開催することとなりました。ただ今、出品牛の募集をおこなっておりますのでより多くの会員より、出品申込いただきますよう併せてお願いいたします。

さらに、「ジュニアショー」の開催については、リードマン育成の場として、高校生までを対象とした部門を新たに設けることとなりました。今まで通り中学生以下の子供たちの参加もお待ちしております。

ぜひ、応援も含め、多くの会員の皆様のご来場をお待ちしております。

第55回福島県ホルスタインショー

- 期 日 令和6年4月20日(土曜日)
 開会式 10:00～10:20
 第1部審査開始 10:20～
 ジュニアショー 10:50～(予定)
 ○ジュニアの部 中学生以下の子供たち
 ○シニアの部 高校生を対象とした部門を新たに設けました
- 場 所 福島県家畜市場 本宮市関下
 □審査長 福島県農業総合センター畜産研究所 所長
 □審査員 一般社団法人 家畜改良事業団 業務1課長 松原 薫 氏

第55回福島県ホルスタインショー出品区分

部 別	月令及び条件	生年月日の範囲
第1部	生後7ヶ月以上～生後12ヶ月未満の未經産牛	R5. 5. 1～R5. 9.30 生まれ
第2部	生後12ヶ月以上～生後16ヶ月未満の未經産牛	R5.1.1～R5. 4.30 生まれ
第3部	生後16ヶ月以上の未經産牛	R4. 12.31 以前の生まれ
第4部	生後36ヶ月未満の経産牛	R3. 5.1 以降の生まれ
第5部	生後36ヶ月以上～生後48ヶ月未満の経産牛	R2. 5.1～R3. 4.30 生まれ
第6部	生後48ヶ月以上の経産牛	R2. 4.30 以前の生まれ

出品区分の基礎となる年齢は、令和6年4月30日をもって算定する。

ただし、資格条件としてホルスタイン種雌牛で登録牛(申請中を含む)であるものとし、生後24ヶ月以上は妊娠確実なものとする。



第54回福島県ホルスタインショー集合写真



ジュニアショー

※写真は昨年度の様子です。

県中やまびこ会寄せ植え講習会



県中やまびこ会（会長 佐藤真理子）では、去る12月12日火寄せ植え講習会を開催いたしました。

寄せ植えセットは会長の真理子さんに手配等お世話になり、花の華芳園さんに届けて頂きました。そして華芳園さんに1つ見本を作って頂き、見本を参考に、また会員同士アドバイスしあって、バランスを考えながら、皆さん自分の感性とセンスで植え付けていきました。毎年恒例事業で開催しているので、皆さん手際が良く作業がスムーズでした。9種類もの花材があり鉢いっぱい素敵な仕上がりになり、美しい花に日頃の疲れも癒され、その後、昼食をとりながら、気心知れた仲間同士だから、話しも合い言いたい事を言い合ってストレス発散にもなり、楽しい一時を過ごすことが出来ました。

引き続き畜舎環境美化を目指し酪農へのイメージアップを図っていききたいと思います。

南相馬支部総会 開催!!

浜地区南相馬支部（杉 和昌支部長）では、1月31日(水)に南相馬市原町区「五月」において、支部総会を開催いたしました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、今までは書面議決にて総会を開催していましたが、今年は会員の懇親も含めて、会員と地区の担当をする職員も出席し、開催することができました。

まだまだ、酪農情勢は厳しい中ではありますが、研修会等の開催など支部の活動を行っていききたいと思います。



販売課

安全・安心な良質乳を生産するために ～生乳生産管理チェックシートをしっかりと記帳しましょう!!～



生乳生産現場における記帳・記録の保管の実施

BSEや高病原性鳥インフルエンザの発生、無登録の農薬や添加物の使用、食品や農産物の偽装表示等、食品の安全性を脅かす事故や事件の発生により、消費者の食の安全性に対する関心が高まる中、平成十五年に制定された「食品安全基本法」では生乳を生産する酪農家も食品関連事業者に位置付けられ、自ら生乳の安全性確保の取り組みを行うことが求められております。

これを受け、(一社)中央酪農会議では、酪農家における衛生的で安全な生乳を供給するための取り組みを推進するに「生乳生産管理チェックシート・マニュアル」を作成しました。

また、食品衛生法一部改正に伴い「ポジティブリスト制度」が施行され、約八〇〇品目の物質が対象となり農薬等(農薬・動物用医薬品・飼料添加物)の残留規制が強化されました。

農薬等の残留問題の発生が危惧される中、生乳の特質上、すべてを検出し出荷することは不可能であることから、制度に対応するためにも、まず第一に農薬等を適正に使用し、その次に農薬等の使用状況について確実に記帳することが重要となります。

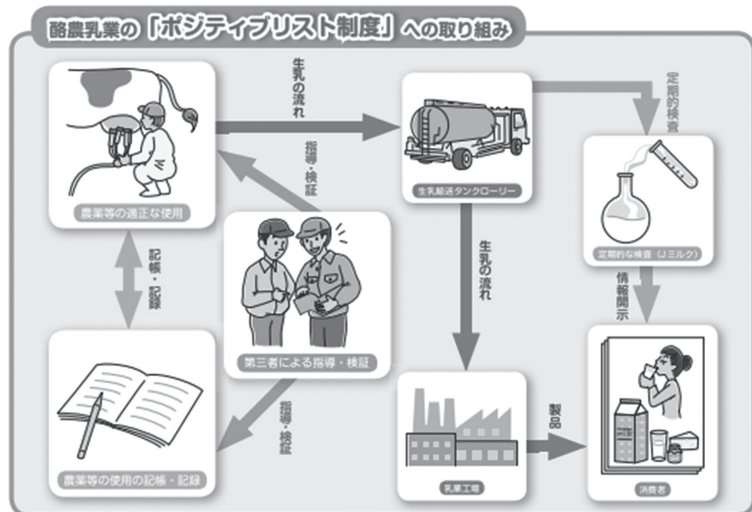
記帳及び記録の保管をすることが、自家産生乳の安全性を証明することにつながることから、生産現場におけるこの取り組みは、とても重要な位置付けとなっております。

ポジティブリスト制度とは

「食品衛生法等の一部を改正する法律」(平成十五年五月三〇日公布)により、食品中に残留する農薬、動物用医薬品及び飼料添加物(以下「農薬等」という)に関するポジティブリスト制度が平成十八年五月二十九日より施行されました。従前の食品衛生法の規制では、残留基準が設定されていない農薬等が食品から検出されても、その食品の販売等を禁止することはできませんでした。新しい制度(ポジティブリスト制度)では、原則として基準が設定されていない農薬等が一定量以上含まれる食品の販売等を禁止しました。

施行にあたり、仮に残留基準が設定されていない農薬等の残留を一切認めないとすると、人の健康を損なうおそれのない微量の農薬等の残留が認められたことをもって違反食品と取り扱われる等、不必要に食品の販売等が妨げられることが想定されました。そこで、「人の健康を損なうおそれのない量」(「一律基準」：〇・〇ppm)が設定されました。

つまり、残留基準が設定されていない農薬等が、この「一律基準」を超えて残留する食品はその販売が禁止されます。



※ (一社)日本酪農乳業協会 パンフレットより引用

安全・安心な良質乳を生産するために ～生乳生産管理チェックシートをしっかりと記帳しましょう!!～

まだ記憶に新しいと思いますが、関西地方で製造された牛乳から、令和五年十一月に抗菌性物質（スルファモノメトキシシン）が基準値を超えて検出され、行政の命令により商品回収となりました。また、同商品と同じ生乳が使われていたヨーグルトについても、スルファモノメトキシシンが極めて微量含まれている可能性が否定しきれないため、行政の見解を踏まえ、万全を期して十一月十三日に商品自主回収となりました。この件はまさに、ポジティブリスト制度に基づく酪農乳業の品質管理システムが機能したことにより発生した事案と言えます。その後、指定団体からの依頼により生産者全戸へ当該物質を含む動物用医薬品の使用状況（直近一ヶ月）調査依頼があり、当組合管内の調査対象者からは全戸「使用していない」との回答結果となりました。

抗菌性物質（スルファモノメトキシシン）への今後の対応について

基準値を超えて検出された抗菌性物質（スルファモノメトキシシン）は、牛の肺炎や細菌性下痢症などに使用される動物用医薬品で、牛の場合は投与日から三日間（七十二時間）以内の生乳出荷が禁止されています。この抗菌性物質は簡易検査や公定法による検査をもってしても抗菌性物質反応が検出できないことが問題視されており、獣医師からの指示に従って休薬期間を遵守し、適正使用すれば生乳から検出されることはありません。

このように残留抗生物質検査で検出できない抗菌性物質もあることから、生産者は必ず休薬期間を遵守したうえで出荷し、生乳生産管理チェックシート等には動物性医薬品等の投与記録、投薬指示書の保管、家畜の治療状況や履歴を確認できることが重要となりますので、適切に記帳を行います。

★：ポジティブリスト制度に対応するために最低限必要な項目

重点記帳項目…ポジティブリスト制度に対応するため、特に優先的に取組む記帳項目

【毎日記帳するもの】

- ★①ミルカー、バルククーラーの洗浄・消毒実施確認記録
- ②バルククーラー乳温記録

【使用、実施、変更又は購入の都度記帳するもの】

- ★①動物性医薬品等の投与記録
- ★②農薬使用記録
- ★③飼料給与記録
- ★④資材交換（洗剤・殺菌剤・ディッピング剤）
- ⑤ // （上記以外）
- ★⑥牛舎消毒及び駆除剤等使用記録
- ⑦肥料使用記録、等

【年1回記帳するもの】

- ①環境と調和のとれた農業生産活動規範 点検シート（家畜の飼養・生産）
 - ②環境と調和のとれた農業生産活動規範 点検シート（作物の生産）
 - ③家畜排せつ物発生量等に関する記録
- ※自給飼料等の作付けがある場合

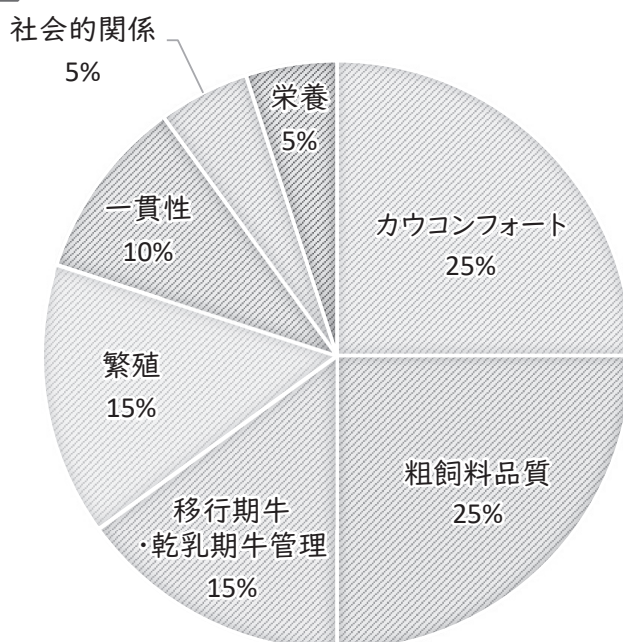
全酪連の小窓 3月号 ～早めの暑熱対策を～

すでに今年も3カ月が経ち、時々暑さを感じるようになりました。今年も暑さが続く一年となるような話が聞こえています。去年の夏バテの影響から分かるように、今年も例年以上に暑熱対策が重要になってきます。今のうちから対策をしましょう！

農場の生産性を構成する要因

暑熱対策をする前に…。農場の生産性は7つ右図の分野によって左右されます。(酪農セミナー2016資料より)「エサを変えてみたら変わるかも」、「繁殖がなかなかなあ…」と1つの分野に目を向けるのではなく、7つを上手く組み合わせることで、総合的に農場の状態を改善できるようになります。

今月は特にカウコンフォートについてお話ししていきます。



カウコンフォートについて

最も影響割合の大きい要因の一つであるカウコンフォートでは、牛の快適性を目指すことで採食機会を増やし、産乳量の増加に繋がります。具体的には環境の改善（以下の4項目）が必要です。

- ① 飼料がある→給餌回数と効果的な掃き寄せ作業
- ② 自由に水が飲める→「一度に」「同時に」「気軽に」飲める水槽
- ③ いつでも食べられる→躊躇なく寝起きできる牛床
- ④ 明るさ→飼槽を明るくする（200ルクス以上：床で新聞が読める程度で16時間）
この環境作りが基本になります。

暑熱対策について

カウコンフォートの中でも、環境の改善で今から準備をしていくべきことは暑熱対策です。今年の夏も去年と同じ高気温が続く可能性があります。今までの暑熱対策を行う以上に春のうちから対策を練る必要があるかもしれません。

●春から暑熱対策が必要な理由

高泌乳牛はTHI65~68でヒートストレスを感じ始めます。THI65は、気温20℃・湿度50%で到達します。そして24℃以上では湿度に関係なく65以上となります。そのため夏場はほぼヒートストレス下なので暑熱対策が必要なのはもちろんですが、**重要なのは春・秋の時期でのTHIの数値**です。最近では春や秋でもTHI65を上回る日が出ています。早めのうちから対策の準備を進めていきましょう。

春から暑熱対策が必要なメカニズム

暑い日、涼しい日（THIが高い日、低い日）が不規則に繰り返される
暑い時間、涼しい時間（THIが高い時間、低い時間）の差が激しい

毎日のDMI、朝昼晩のDMIの変動が激しくなる
（食べる・食べないが繰り返される）

ルーメンのpHも連動して激しく上下する

牛＝ルーメン内微生物にダメージが蓄積する

夏バテが春から始まる→影響が長期になる

送風ファンの羽掃除をすることで
風速が25%UP!!
=電気代圧縮できるかも!?



遮熱塗料を屋根に塗ったり屋根
に断熱剤を入れることで舎内の
温度上昇防止に!!

子牛や乾乳牛にも準備を!!

給与方法や給餌メニューでご不明点ありましたら、全酪連スタッフや
県酪職員へご相談ください!

ZENRAKUREN



ZENOAQ コーナー Vol.231



〒963-0196

福島県郡山市安積町笹川字平の上1-1

日本全薬工業(株) 福島営業所

TEL0120-452-464 FAX0120-661-255

前回は牛ウイルス性下痢（BVD）の胎子感染と検査方法についてお話ししました。
今回からはワクチンについて勉強していきたいと思います。

生ワクチンと不活化ワクチン

牛のワクチンは、生ワクチンと不活化ワクチンに大別されます。前者はワクチンの本体であるウイルス株や細菌株が生きているもの（感染性があるもの）で、後者は不活化され、感染性がないものを指します。生ワクチンは、接種された動物の体内で増殖し、液性免疫だけでなく細胞性免疫も惹起し、その結果、免疫の持続が長いという特徴を持ちます。不活化ワクチンは体内増殖がないため、抗原量を多くして、かつワクチンの抗原性を高めるために添加される物質であるアジュバントと呼ばれる物質を必要とします。ワクチンの使用に当たっては、まず、生ワクチンと不活化ワクチンの特徴を理解した上で選択することが重要です。

	生ワクチン	不活化ワクチン
特徴	ウイルス・細菌を人為的な操作により弱毒化した生きたままの株を用いたワクチン	ウイルス・細菌の感染性を物理・化学的に処理して不活化したワクチン
安全性	動物の感受性・接種時の健康状態によりワクチン株の増幅による副作用が発現するリスクが考えられる。	一般に不活化されているため安全性は高い（感染性はない）。
有効性	液性免疫及び細胞性免疫。一般に免疫持続が長く、自然感染ルートからの投与が認められたワクチンでは、早期に局所免疫の発現が期待できる。	主に液性免疫。免疫の成立は一般に遅く、免疫持続が短い（アジュバントを加えることにより免疫持続の長期化は可能）。
アジュバント	通常不要	必要
その他	製造用材料（動物、培養細胞、血清等）に潜在するウイルスがワクチンに迷入し、それにより発病するリスクは生ワクチンの本質の点から否定できない。	免疫強化のために用いるアジュバントによって接種反応がでる可能性がある。精製化により副作用の少ないワクチンができる。

日本動物用医薬品協会「動物用ワクチン利用の手引き（牛用ワクチン編）」

■ BVDワクチンの課題

BVDワクチンにおいても生ワクチンと不活化ワクチンの2種類が存在しており、呼吸器病ワクチンの1つとして流通しているものがほとんどです。ところが、従来のBVDワクチンには大きな問題がありました。それは、前回お話したように、BVDウイルスは妊娠牛に感染すると、胎盤を介して胎子に感染する垂直感染を起こすのですが、これが生ワクチン由来の株でも起こってしまい、ワクチン株由来の持続感染牛（PI牛）を産み出すことがあるという問題です。つまり、妊娠牛に対して生ワクチンは禁忌であり、本来、垂直感染を防止するために必要な妊娠牛（あるいは妊娠予定の牛）に対しては不活化ワクチンしか使えないというジレンマがあったということです。不活化ワクチンが生ワクチンと比較して、アジュバントを必要とすること、細胞性免疫を惹起できないこと、ワクチン効果を上げるために2回以上の接種が必要なこと等については前項で触れたとおりです。

実際、過去にも妊娠牛に対する生ワクチンの誤接種によって、PI牛や粘膜病を引き起こしてしまった事例がいくつもあります。BVDワクチン接種を実施されたことのある方々は、生ワクチンと不活化ワクチンの使い分けに頭を悩まされたこともあるのではないのでしょうか。

生ワクチンの誤接種による事例

発表年	発生県	病態	事例数	発表者
2004	岩手県	PI	2	八重樫ら
2005	東京都	PI	3	寺崎ら
2006	岡山県	PI	1	福富ら
2006	東京都	PI	1	寺崎ら
2008	佐賀県	粘膜病	1	西ら
2009	鳥取県	粘膜病	1	小谷ら
2011	福島県	粘膜病	1	三瓶ら

農水省「全国家畜保健衛生業績発表会」抄録

現在、これらの問題を解決するために開発されたワクチンもあります。つまり、生ワクチンとしての優れた有効性を持ちつつ、妊娠牛にも打てるという安全性を兼ね備えたワクチンなのですが、それについては別の機会にお話ししたいと思います。

令和5年度1月別支払乳価表

今月のプール乳価・補給金・集送乳調整金を含めた支払乳価は、130円3銭2厘で前年より11円6銭7厘上回る単価となりました。生乳取引価格については、令和4年11月1日から飲用向け及び発酵乳向け10円/kg（税抜）の値上げが、令和5年4月1日から学乳向け及び乳製品向け10円/kg（税抜）の値上げとなっております。また、令和5年8月1からは飲用向け及び発酵乳向け、学乳向けが10円/kg（税抜）の値上げとなっております。さらに、令和5年12月1日取引分から乳製品向けのうち油脂分（バター向け及び生クリーム向け）の生乳取引価格について6円/kg値上げの期中改定となっております。

（東北全体1月）

用途別	販売乳量 (ト)	日量 (ト)	前年比 (%)	シェア (%)	前年度 シェア
飲用向け	25,152	811.0	92.9	65.5	65.9
加工向け	5,094	164.0	103.6	13.3	11.9
学校給食向け	2,011	65.0	102.8	5.2	4.8
発酵乳向け	5,579	180.0	85.2	14.5	15.9
生クリーム向け	438	14.0	91.1	1.1	1.2
チーズ向け	149	5.0	103.5	0.4	0.4
合計	38,422	1,239.0	93.4	100.0	100.0

備考 1) 買取乳量を除く

- 東北全体プール乳代金 4,631,189千円 単価127.190円
- 内 福島県分プール乳代金① 540,298千円 単価127.190円
- プール対象外乳代金② 86,696千円
- (学乳向け・買取向け乳代金)
- 合計乳代金①+② 626,994千円 単価132.209円

項目	令和6年1月	前年同月	増減	前々年同月
プール乳価	128円339	117円488	10円851	109円161
補給金単価	1円298	1円125	0円173	1円091
集送乳調整金単価	0円395	0円352	0円043	0円342
合計	130円032	118円965	11円067	110円594

(注) 上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

団体別受託乳量の状況

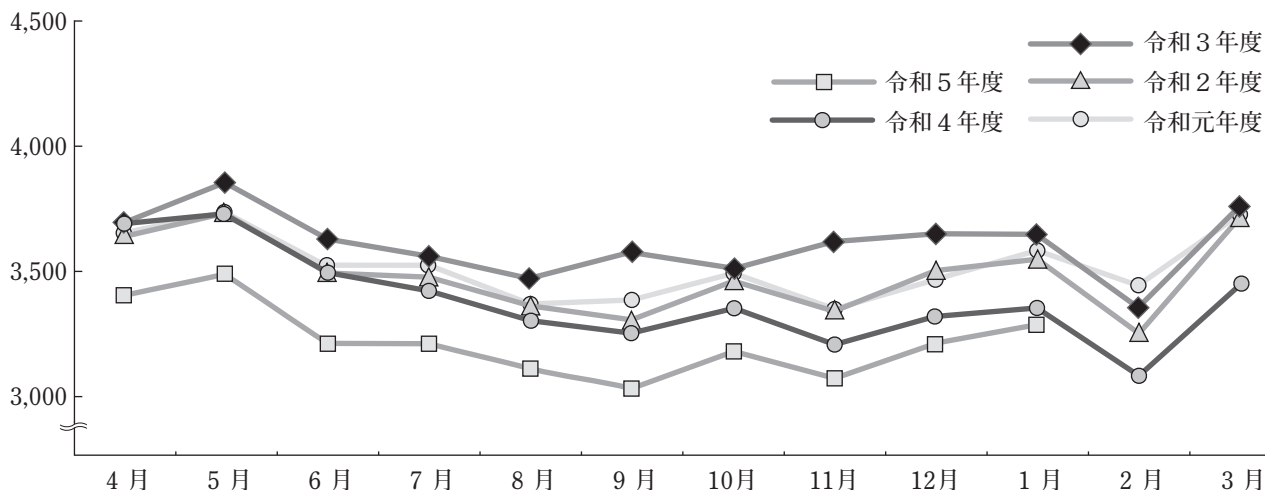
北海道：99.5%、都府県：97.6%

団体名	1月分		
	受託乳量 (ト)	日量 (ト)	前年比 (%)
県酪協	3,298	106.4	98.3
全農福島県本部	1,445	46.6	96.3
合計	4,743	153.0	97.7
東北生乳販連	38,422	1,239.4	93.4
全国	579,451	18,692.0	98.7

月別受託乳量 県酪協 (トン)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	3,661	3,736	3,526	3,528	3,380	3,391	3,495	3,349	3,477	3,589	3,442	3,735	42,310
令和2年度	3,642	3,739	3,495	3,482	3,363	3,310	3,458	3,341	3,505	3,549	3,268	3,723	41,874
令和3年度	3,693	3,859	3,629	3,599	3,564	3,486	3,578	3,515	3,619	3,652	3,353	3,760	43,307
令和4年度	3,691	3,733	3,494	3,434	3,305	3,255	3,354	3,210	3,324	3,355	3,088	3,456	40,699
令和5年度	3,407	3,492	3,217	3,217	3,117	3,037	3,185	3,070	3,235	3,298			
前年比%	92.3	93.5	92.1	93.7	94.3	93.3	95.0	95.6	97.3	98.3			

単位・トン



令和5年度受託乳量の状況

令和6年1月の受託乳量は、県全体で前年比97.7%の実績でありました。

団体別の受託乳量は、本組合が3,298ト、前年比98.3%（対前年同57ト減）、全農県本部は1,445トの対前年比96.3%（対

前年同月55ト減）の実績でありました。

東北生乳販連の受託販売実績については、前年比93.4%となりました。

なお、全国の受託実績は対前年比98.7%となりました。

令和5年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

東北全体の用途向け販売数量は、前年比で加工向けが103.6%、学校給食向けが102.8%、チーズ向けが103.5%と上回り、飲用向けが92.9%、発酵乳向けが85.2%、生クリーム向けが91.1%と下回って推移しました。引き続き、福島県産牛乳・乳製品の消費拡大にご協力をお願い致します。

令和6年度の補給金単価については、加工原料乳生産者補給金単価が生乳1キログラム当たり前年度比23銭引き上げの「8円92銭」、集送乳調整金を同3銭引き上げの「2円68銭」、総交付対象数量については、前年度比5万トン減の「325万トン」で決定しました。補給金単価と集送乳調整金単価を合算すると、前年度比26銭上げの「11

円60銭」となります。補給金単価の上げ要素としては、飼料費と副産物価格の高騰等、下げ要素としては搾乳牛1頭当たりの乳量の増加、乳牛償却費の減少があり、集送乳調整金の上げ要素としては、集送乳委託費の増加が挙げられます。総交付対象数量の算定に必要な「推定乳製品向け生乳消費量」は、国民一人当たりの乳製品の消費量について過去10年間のトレンドから算出されています。

なお、今月の酪王協同乳業（郡山工場）の生乳使用量は日量平均43.1ト（前年比97.7%）で、本組合生産量の40.5%、県全体生産量の28.2%の処理量となりました。

1. 年次別・月別支払乳価一覧（補給金・集送乳調整金を含む）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和5年度	120.673	121.861	122.643	121.705	129.935	133.579	132.503	131.554	128.815	130.032			
令和4年度	109.973	110.973	112.420	111.282	110.437	112.872	112.484	120.128	117.186	118.965	119.149	116.514	114.365
令和3年度	110.502	111.609	113.060	111.724	110.197	112.507	112.537	112.319	109.640	110.594	110.503	109.010	111.184
令和2年度	108.959	110.268	113.694	113.625	112.257	114.269	113.489	112.845	111.265	111.109	112.190	109.876	111.986
令和元年度	107.825	109.442	110.235	109.707	109.001	110.834	113.758	112.804	110.935	111.470	112.026	108.238	110.523

乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

令和6年1月31日現在

地区	酪農家戸数			乳牛頭数									
	戸数	前年度戸数	前年比	育成	初妊	経産牛				合計	前年度頭数	前年比	1戸当り頭数
						乾乳妊娠	妊娠搾乳	空胎搾乳	小計				
県北	戸 25	戸 29	% 86.2	頭 463	頭 178	頭 153	頭 379	頭 732	頭 1,264	頭 1,905	頭 1,894	% 100.6	頭 76.2
県中	48	54	88.9	231	102	163	324	739	1,226	1,559	1,709	91.2	32.5
浜	6	7	85.7	101	32	22	61	103	186	319	329	97.0	53.2
県南	32	36	88.9	570	217	236	528	966	1,730	2,517	2,678	94.0	78.7
合計	111	126	88.1	1,365	529	574	1,292	2,540	4,406	6,300	6,610	95.3	56.8

地区	月別分娩予定頭数							販売乳量				
	令和6年2月	令和6年3月	令和6年4月	令和6年5月	令和6年6月	令和6年7月	令和6年8月	生乳出荷戸数	地域別販売乳量		1日1頭当り乳量	
									1日当り	1日1戸当り	搾乳牛	経産牛
県北	頭 107	頭 97	頭 94	頭 72	頭 69	頭 69	頭 103	戸 21	kg 32,235	kg 1,535	kg 29.0	kg 25.5
県中	104	96	63	37	51	51	84	48	26,554	553	25.0	21.7
浜	11	15	6	11	16	16	30	6	4,634	772	28.3	24.9
県南	150	137	97	103	113	113	156	30	42,972	1,432	28.8	24.8
合計	372	345	260	223	249	249	373	105	106,395	1,013	27.8	24.1

第340回 県酪協乳牛市場成績

令和6年2月14日開催

購買者数 16名（うち県外8名）

畜種	雌雄	成立数 (成立率)	最高価格 最低価格	平均価格 (前回比)	平均体重 (前回比)	平均単価 (前回比)
ET和牛	メス	24 (100)	267,000 150,000	214,250 (90)	105 (104)	2,036 (87)
	雄	40 (98)	375,000 150,000	264,125 (84)	118 (108)	2,233 (78)
乳牛	雄	34 (100)	88,000 1,000	49,441 (94)	76 (100)	655 (95)
交雑牛	メス	67 (100)	119,000 7,000	74,672 (99)	76 (99)	977 (100)
	雄	41 (100)	169,000 7,000	106,098 (114)	83 (106)	1,273 (106)

価格：円（落札価格） 率・比：％ 体重：kg

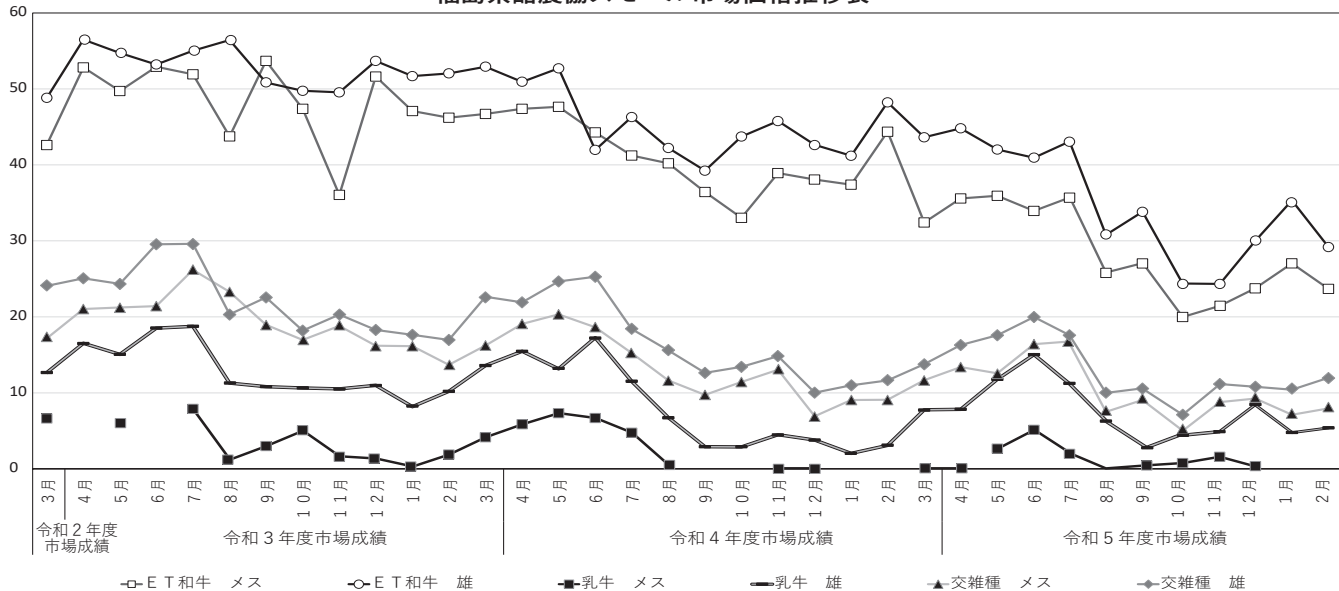
価格帯別分布表

（0は0.1～0.9万円、1は1.0～1.9万円、以下同様。尚、落札価格です。）

畜種	雌雄	価格帯(万円)																																				
		<13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37												
ET和牛	メス			2	1		1	3	2	1	3	8	2		1																							
	雄			1	1				3		2	1	1	1	4	4	7	8	1	2	1	1									1					1		
乳牛		0<	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24												
	雄	3	3	1	2	4	8	9	1	3																												
交雑牛		<0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24												
	メス	1		3	1	11	11	1	5	10	5	9	10																									
	雄	1		1	1				1	1	4	6	8	5	7	1	1	2	2																			

単位：万円

福島県酪農協スモール市場価格推移表



組 合 の 動 き 2 月

2月1日	第2回安全運転講習会	2月16日	第九次中期経営3カ年計画
2月2日	酪青連・青年部役員会		第2回推進委員会
2月5日	日本酪農政治連盟東北 ブロック役員会	2月16日	第10回理事会
2月6日	県酪農協職員研修報告会	2月19日	浜地区運営委員会
2月7日	日本酪農政治連盟福島県支部 連合会総会	2月20日	県北地区運営委員会
2月7日	日本酪農政治連盟福島県支部 連合会常任委員会	2月21日	県中地区運営委員会
2月8 ～9日	全酪連監事・役職員研修会	2月21日	日本酪農政治連盟事務局長 ・事務局担当者会議
2月9日	福島県牛乳普及協会 大野均氏講演会	2月21日	臨床研究会
2月9日	日本ホルスタイン登録協会東日本 地区社員会議	2月22日	FD24会会員視察研修会
2月13日	福島県ホルスタイン改良同志会 決算役員会	2月25 ～26日	球磨酪農業協同組合視察研修
2月14日	乳牛せり市場	2月26日	東北生乳販連事業推進委員会 (WEB)
2月15日	牛群検定推進ブロック会議	2月26日	福島県農業会議常設審議委員会 ・農政推進協議会総会
2月15日	県南地区運営委員会	2月27日	酪王協同乳業(株)取締役会
2月16日	(株)らくのう乳販取締役会	2月27日	酪青連後継者支援研修会
		2月28日	東北生乳販連生乳受託販売委員会
		2月28日	県酪農協職員組合定期大会

理 事 会

第10回 令和6年2月16日

議 案

第1号議案 子会社に対する運転資金の貸付について

報告事項

- (1) 令和5年度第3四半期収支状況報告について
- (2) 経営検討農家の現状について
- (3) 子会社の令和5年度第3四半期事業報告について
- (4) 今後の日程について

福島県牛乳普及協会

令和4年度

牛乳・乳製品利用料理コンクール 全国各地の受賞レシピをご紹介します



会津小菊南瓜風味のチーズinハンバーグ

福島県立会津農林高等学校
佐々木 華さんの作品



●●● 材 料 ●●●

(材料:4人分)

- ・小菊南瓜 …………… 1玉
- ・牛挽肉 …………… 320g
- ・卵 …………… 1個
- ・パン粉 …………… 大さじ3
- ・塩・こしょう …………… 適量
- ・牛乳 …………… 400ml
- ・バター …………… 40g
- ・溶けるスライスチーズ …4枚
- ・コンソメ …………… 1個
- ・玉ねぎ …………… 1/2個
- ・すりおろしにんにく … 適量
- ・薄力粉 …………… 大さじ2

●作り方

- ① 南瓜を一口大に切り、レンジで加熱する。
- ② 玉ねぎをみじん切りにする。
- ③ みじん切りにした玉ねぎをこがね色になるまで焼く。
- ④ ボウルに挽肉、卵、パン粉、塩・こしょう、すりおろしにんにく、玉ねぎを入れ混ぜる。
- ⑤ 混ぜたものを丸くし、中にチーズを入れ形を整える。
- ⑥ 整えたらフライパンに入れ、中火でふたをし焼く。

- ⑦ フライパンにバターと薄力粉を入れてよく混ぜる。
- ⑧ よく混ぜたら牛乳を少しずつ入れる。
- ⑨ コンソメを加える。
- ⑩ 加熱した南瓜をすりおろし器ですりおろす。
- ⑪ すり終えたら、⑨に入れる。
- ⑫ ハンバーグが焼けたら、その上にホワイトソースをかけて完成。

ポイント

会津産の伝統野菜を使ったこと。

『特派員報告』大募集

毎月、県内各地の情報を皆さまから提供いただき、共有していきたいと思っております。
ちょっとした出来事、地域にあるお店の紹介などなど情報提供をお願いします。

連絡先

E-mail : hiro-watanabe@fukuraku.or.jp

F A X : 0243-33-1103



『ほっとMilk』投稿募集について

1. テーマは自由 (ほっと(∩^∩)する話題がいいですね)
 - ◎文章だけでも結構です。
 - ◎写真があると最高です。
2. 受付 (常時受け付けしています)
 - メール・FAX・事務所経由・直接持参、何でもOKです。
 - E-mail : hiro-watanabe@fukuraku.or.jp
 - F A X : 0243-33-1103

発行者 福島県酪農業協同組合 発行責任者 常務理事 佐藤 幸光

〒969-1103 福島県本宮市仁井田字一里壇17番地 TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103 URL <http://www.milk.fukushima.jp>